

「西岡公園グリーンレター」は、西岡公園の施設改修計画策定に関する情報をお伝えしています。
(計4回発行予定)

◆再整備の対象施設について

▶パーゴラ広場：写真①

パーゴラ広場は、1977年の西岡公園の開園時に整備された広場で、遠足やピクニックなど「野外レクリエーションの場」として整備されました。開園から45年が経ち、パーゴラ本体は老朽化が進み、その上を這うフジの生育もあまりよくありません。

また、水はけが悪いため、春先や大雨の後は広場の利用はできませんが、反面、この湿った場所は多くのトンボ、野鳥などが生息する湿原的環境になっています。



写真①: パーゴラ広場

▶北側門扉：写真②

西岡公園が都市公園になる前、ここ一帯は国有地でしたが、水源池とその周囲を札幌市が公園用地とした際、北側の土地は市内の法人が取得しました。それ以来、公園との境界にはフェンスと門扉が設けられることになりました。



写真②: 北側門扉

▶隣地の橋：写真③

隣地法人が樹林を管理するために使用していた通路には、西岡公園が整備される前から橋が置かれており、公園が完成した後は園内の維持管理のために、札幌市はこの橋を使用させてもらっています。

現在、この橋は老朽化が進み、今後も公園の維持管理を行うためには新たな橋を架ける必要がありますが、橋も土地も公園のものではないため、市が架け替えることはできません。

そこで、公園内のどこに橋を作り直すか、また、どのような橋が望ましいかについて今回のワークショップでは議論を行っています。



写真③: 隣地の橋

▶月寒川：写真④

西岡公園の水源池は、1984～85年のボート乗り場整備に反対する市民団体との話し合いを契機に、水源池下流部の月寒川（公園区間に）は、原則として手を付けないこととしてきました。

しかし、公園管理者や来園者がパーゴラ広場へ容易に渡ることができないことや、隣地の橋が老朽化してきたことなどから、新たな橋の設置と、それによる川への影響について議論が行われています。



写真④: 月寒川

▶駐車場：写真⑤

近年の市民における自然志向や、コロナ禍の影響などから、西岡公園への来園者は増加傾向にあり、それに伴い駐車場不足が問題となっています。また、駐車場が満車となると地域での路上駐車も心配される上、現状の変則的な形の駐車場は駐車しづらく、無秩序な駐車により来園者の通行にも支障がでています。

加えて、これまで道路側からの利用を想定していた公衆トイレについても、公園の再整備を合わせて使いやすくするための検討を行っています。



写真⑤: 駐車場

■西岡公園の再整備に関するお問い合わせ

札幌市豊平区土木部維持管理課公園緑化係（担当：小田 電話 851-1681）
北海道造園設計株式会社（担当：佐藤、佐々木 電話 758-2261）

西岡公園グリーンレター 2号

パーゴラ広場と駐車場周辺の再整備について

札幌市では、西岡公園の豊かな自然を残しながら、誰もが安心安全に利用できるように再整備を進めています。これまで、管理事務所の建替や、水源池周辺の木道の改修などを行ってきましたが、今回は水源池から下流部にある「パーゴラ広場」と「駐車場周辺」の再整備を対象にしています。

再整備の計画づくりについては、近隣にお住まいの方や公園を利用している皆さんから意見をうかがいながら進めてまいりますので、関心のある方は、ぜひ下記ワークショップ（※）にご参加ください。



※ワークショップとは、行政、専門家、市民が互いに話し合いながら、理解を深めたり案を創りあげるための会議の手法です。

◆第1回 ワークショップが開催されました

西岡公園の再整備に向け、第1回目のワークショップ「みんなで公園を見てみよう」が10月29日土曜日に行われ、市民の方9名が参加し、西岡公園の水源池の下流部にあるパーゴラ広場、月寒川、駐車場などの再整備対象地を巡りました。

その後、管理事務所前の広場において、意見や感想を出し合い、今後の西岡公園のあり方について話し合いました。

（詳しくは見開きページをご覧ください。）



植物や水生生物の専門家の解説を聞きながら見学

◆今後のスケジュール

第1回 ワークショップ

現地見学会（令和4年10月29日（土））
みんなで公園を見てみよう！

第2回 ワークショップ

意見交換会（令和4年12月17日（土））
公園の問題を考えよう！

第3回 ワークショップ

報告会（令和5年2月4日（土））
再整備のイメージを紹介します

事業スタート

設計：令和5年度以降

◆第2回 ワークショップのご案内

テーマ：公園の問題を考えよう！

今回のワークショップでは、現地見学会で出された意見やアイデアなどをもとに、老朽化した西岡公園の施設について、どのように改修するかを利用者の皆さんと話し合いたいと考えています。多くのご参加をお待ちしております。

★ 日 時：12月17日（土）10時～12時

★ 集合場所：西岡公園管理事務所

注1 事前の予約は不要です。直接会場にお越しください。

注2 車でお越しの方は、公園北側の駐車場をご利用ください。

注3 新型コロナ感染症の予防に配慮し、マスクの着用をお願いします。



◆第1回ワークショップで出された意見や課題

第1回ワークショップ「現地見学会：みんなで公園をみてみよう！」では、約1時間半をかけて、専門家の解説なども聞きながら、水源地から下流部にあるパーゴラ広場や駐車場の周辺を巡りました。

その後、約30分は大きな用紙に参加者皆さんからの意見や感想を書き込んでもらい、その結果を見ながら話し合いを行いました。

《管理者しか通れない古くなった橋》

【意見① 新しい橋を別の場所につくる】

- 今は隣接者が管理する橋を使わせてもらっている状況のため、公園管理者しか使えない。
- この橋はかなり古くなっている。
- 駐車場とパーゴラ広場をつなぐ橋を、川の端(下流部)に作り、来園者も利用できるようにする。



【意見② 同じ場所で橋を新しくする】

- 川の上流の自然を守るために、橋はこの場所で新しくする。
- ここは公園ではないので、市で土地を買う。



《トイレについて》

【きれいで、使いやすいトイレ】

- トイレは新しく、きれいなトイレにしてほしい。
- 駐車場とは通路（スロープ）でつなぐと良い。
- トイレの入口を公園に向かって、駐車場側から入りやすくしてほしい。



※2. トイレの位置は、手前の道路に埋められた排水管に汚水を流しているので、トイレを道路よりも低い位置に設置することはできません。

《パーゴラ広場について》^(※1)

【意見① 今のまま良い】

- 今自然のままが良い。小川もそのまま。
- トンボや鳥がみられる今のパーゴラ付近の湿地は残す。
- 遊具などは不要で、子どもが自由に走り回れる広場空間を保つ。
- 人工的なビオトープ（湿性植物や生き物の棲む場）はいらない。
- 今あるフジ棚は残す。

【意見② 使いやすく、見どころも増す】

- 広場を湿地化してクリンソウなどの湿性植物を増やしていく。
- 雪解けの時期には水がたまり、湿地見本園になる。
- 地形がデコボコしている場所は利用しづらいので、平らにする。
- 弱ったフジの枝（萌芽）を育ちやすい場所に移植し育てる。

【意見③ 自然を再生する】

- この地域本来の自然に近づけるため、湿地状のビオトープをつくる。
- 広場内にワンド（池状の水が溜まる地形）を造り、多様な自然環境を創る。
- 川沿いに植栽をし、多様な植物が育ち、生き物も棲みやすい環境づくりをする。
- フジは自然になじまないので取り除く。



※1 パーゴラとは、日よけの付いた休憩施設で、ここではフジ棚になっています。

《北側門扉》



ここが立入禁止のため、駐車場～パーゴラ広場の間は、八つ橋まで“まわり道”をしなければならない。

パーゴラ広場



《八つ橋》



八つ橋はこのまま残す

《駐車場について》

【広く、使いやすく】

- 駐車場は混み合うので広げる。
- 駐車場内の区割りが分かりにくく、利用しづらい。レイアウトの見直しが必要。
- 奥に進むにつれて狭くなる。Uターンがしづらい。
- 奥の芝生地は駐車場に使えそう。
- 駐車場に面する斜面は、子どものソリ遊び場になっている。斜面下の芝生地利用には配慮が必要。



意見交換での課題

★パーゴラ広場をどうするか

- 現状のままとするのか？
- 利用者にとって使いやすく整備するのか？
- 自然を重視した整備をするのか？



★川を渡るための橋をどうするか

- 市が隣接地を買収し、今の位置に橋を架け替えるのか？
- 公園内に新しい橋を設置し、駐車場からも使いやすくするのか？